

明治国際医療大学 保健医療学研究科 保健学専攻 博士後期課程 設置構想の概要

1. 保健学専攻の目的

保健学研究に必要な高度な研究能力並びに専門的な研究成果の実装能力を有する人材養成を行うとともに、保健学の科学的研究基盤の拡大と進展への寄与並びに社会に貢献することを目的とする。

2. 博士後期課程の概要

| | |
|------|--------------------------------|
| 名 称 | 明治国際医療大学 保健医療学研究科 保健学専攻 博士後期課程 |
| 開設時期 | 令和6（2024）年4月（予定） |
| 開設場所 | 明治国際医療大学（京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1） |
| 修業年限 | 3年 |
| 入学定員 | 2名（収容定員：6名） |
| 取得学位 | 博士（保健学） |

3. 博士後期課程の理念

我が国は、世界でも類を見ない超高齢社会に突入しており、2060年には約40%に達すると見られている。一方、少子高齢社会や人口減少社会の到来が、生産年齢人口割合の減少と医療費・介護費を含めた社会保障費の増大を招いている。言い換えると、我が国は世界に先駆けた“課題先進国”である。

他方、IT革命によるSociety5.0の到来やCOVID-19のパンデミックは、労働者の働き方を大きく変えている。その過程で社会や職場・家族との不適合による“こころの病”が年々増加している。これらへの対応は、従来の医療システムでは限界がある。すなわち、治療を中心とした「医療モデル」から生活者の健康維持・増進、予防を中心とした「生活モデル」へと保健医療システムの転換をはかることが必要であるとされ、2015年に厚生労働省は、2035年、日本を「健康先進国へ」というビジョンを掲げている。

このような社会情勢の変化から、我が国の保健医療政策は転換が迫られている。その主軸となる政策がリージョン・ヘルスケアによる健康維持・増進、疾病予防、高齢者の自立支援である。これらを担う21世紀型の保健医療において、高度な研究者、教育者、実務者の人材養成は、待ったなしの喫緊の課題である。特に地域社会に入り込み、健康の社会的決定要因を探索するとともに、潜在的な健康課題を予測しその発現を予防する、先駆的な研究を推進できる人材が必要である。また、保健医療福祉と連携協働し研究成果を社会に実装して「先進健康地域」をプロデュースできる人材も必要である。

本専攻は、近未来の人生100年時代に向けて、保健学と本学の特長である統合医療をプラットフォームとして斬新な研究を推進できる人材養成（多機能型研究者、次世代課題解決型研究者、研究成果実装型研究者）をビジョンとしている。

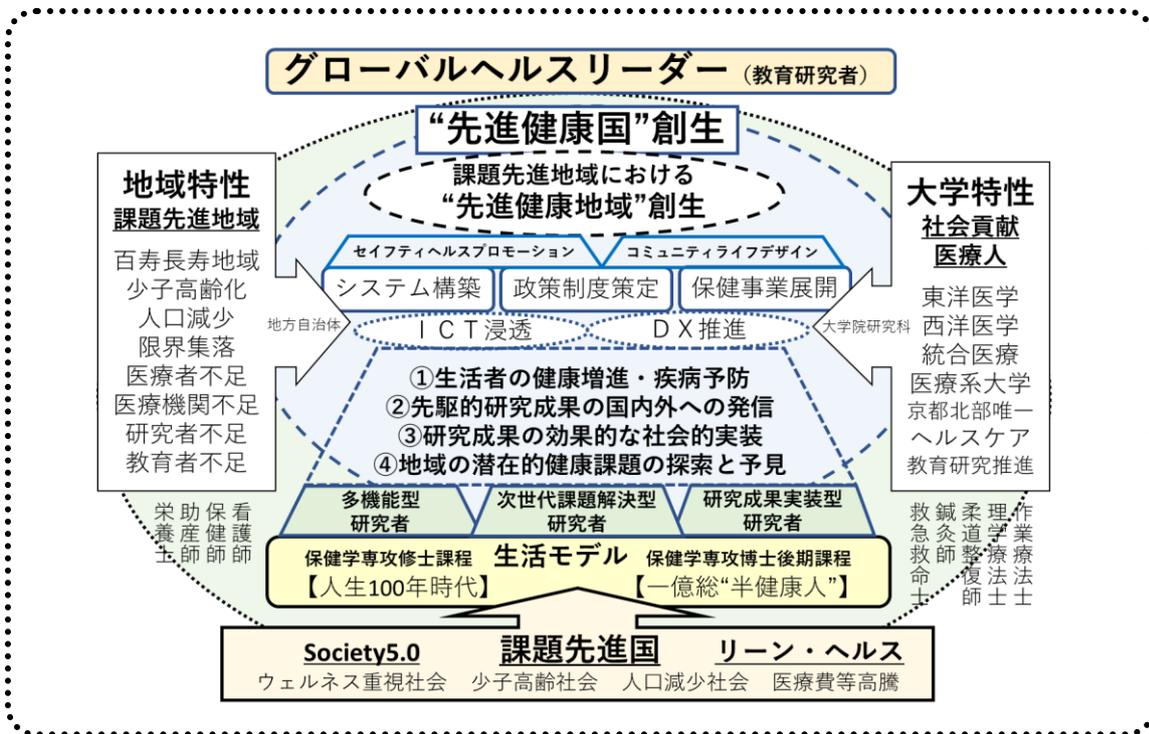
京都府北部は、少子高齢化や人口減少が進む典型的な課題先進地域である一方、我が国でも百寿者が多く生活する地域として知られている。人生100年時代を迎えた現在、ライフコース一貫したセーフティヘルスプロモーションとコミュニティライフデザインが地域保健の喫緊の課題である。健康寿命延伸やウェルネス増進

の要因を解明し、研究成果を地域に実装する健康で安心な地域づくりは、課題先進地域に位置する唯一の保健医療系大学として本学が担わなければならない使命である。このミッションを実現する高度な教育研究者の育成は、医療職が多様な専門性を生かして課題先進地域から研究成果を世界に発信するグローバルヘルスリーダーとしての貢献にも寄与する。

4. 博士後期課程で養成する人材

保健学を基盤とした先端の研究知見が得られる高度な研究遂行力と斬新な研究企画力を兼ね備え、新奇性の高い新たな研究成果を地域社会に発信、実装できる多機能型研究者を養成する。人々の暮らしの向上と社会の持続的発展ために地域における潜在的な健康課題や健康の社会的決定要因を探索し、健康増進、疾病予防の観点から多職種や住民・患者と協働して課題を解決するための新たなプログラムの開発、システム・制度の構築等を推進できる次世代課題解決型研究者を養成する。

社会の多様な保健医療福祉的なニーズに対応した、効果的で斬新な研究成果を地域社会に実装し、「健康先進地域」のコミュニティデザイン及び質の高い地域包括ケアをプロデュースし展開できる研究成果実装型研究者を養成する。



5. 保健学専攻の特色

- ★夜間・土日の授業やサテライトキャンパスにおいて、現職社会人が学びやすいカリキュラムを実施します。
- ★職業を有している等の事情により、標準修業年限での履修が困難な方は、長期履修制度により、3年を超えて在籍履修することが可能です。
- ★一部の科目はメディア授業で履修することができます。但し、特別研究、研究指導については大学若しくはサテライトキャンパス等において、面接授業を行います。

入学対象者・・・主として医療専門職

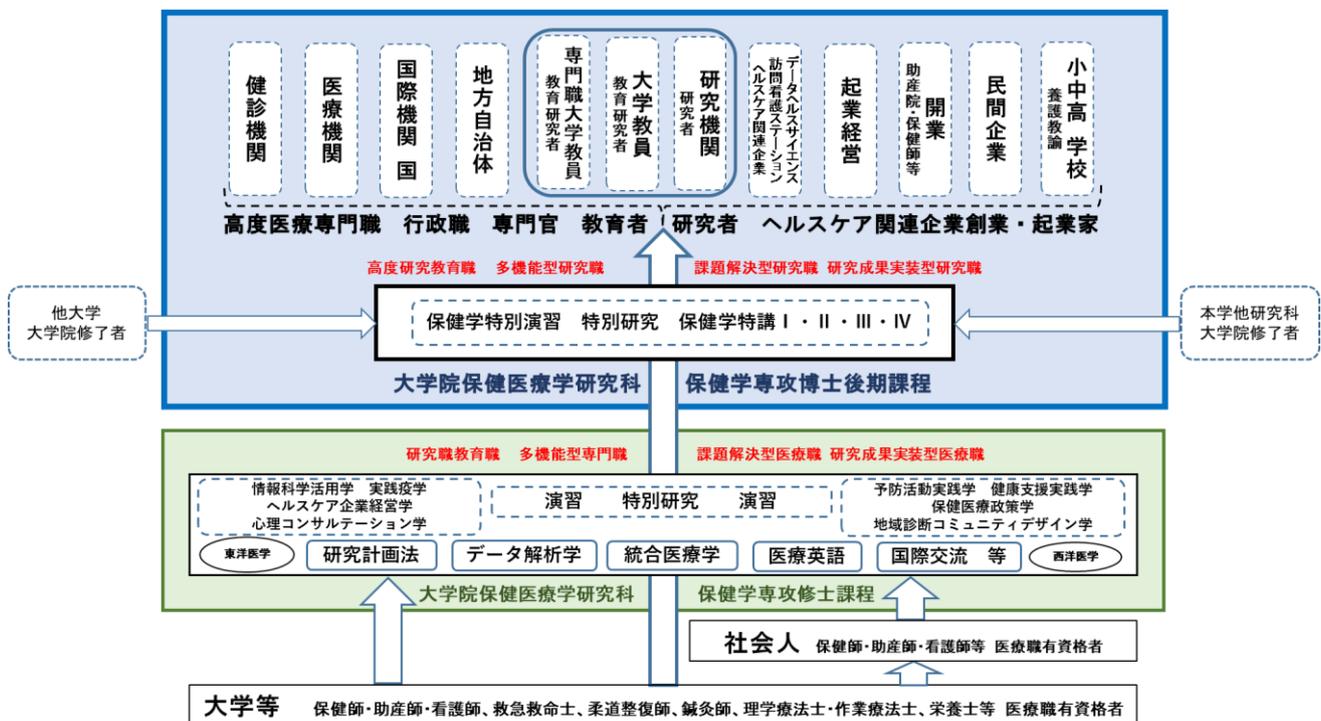
〔保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士、鍼灸師、柔道整復師、救急救命士、栄養士など〕

6. 修了後の進路

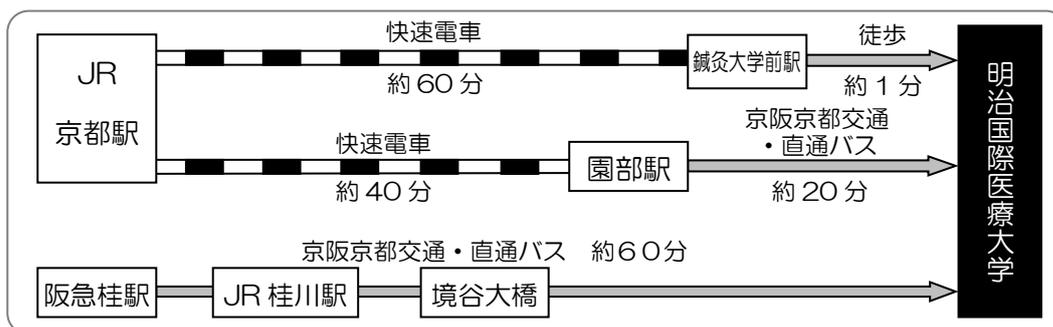
- (1) 研究者（大学・大学院，企業・研究機関）
- (2) 教育者（大学・大学院）
- (3) 医療専門職（医療・健診機関，国・地方自治体高度医療専門職）
- (4) 起業家（ヘルスケア関連産業起業・経営，医療関連民間企業）

保健学専攻 博士後期課程入学者の将来展望

【博士後期課程と修士課程の科目群の関連性】



7. 本学へのアクセス



8. 学費（他大学を含む）

（単位：円）

| 大学院・研究科・専攻名（所在地） | 入学金 | 授業料等 | 初年度納付金（合計） |
|---|---------|---------|------------|
| 明治国際医療大学大学院・保健医療学研究科 ・保健学専攻（博士後期課程） （京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷 6-1） | 300,000 | 800,000 | 1,100,000 |
| 新潟医療福祉大学大学院・医療福祉学研究科 ・医療福祉学専攻（博士後期課程） （新潟県） | 200,000 | 850,000 | 1,050,000 |
| 藤田医科大学大学院・保健学研究科・医療科学専攻 （博士後期課程） （愛知県） | 150,000 | 750,000 | 900,000 |
| 森ノ宮医療大学院・保健医療学研究科・医療科学専攻 （博士後期課程） （大阪府） | 300,000 | 740,000 | 1,040,000 |

※明治国際医療大学大学院保健医療学研究科保健学専攻（博士後期課程）の学費は、令和6（2024）年度入学生の子定額です。

※他大学の学費は、各大学のホームページに掲載のある情報です（令和4年10月時点）。

※各大学ともに、上記以外にも諸会費が必要な場合があります。

★上記は設置構想中の内容であり、変更になる場合があります。